

#### 4. 年度別収支計画

##### (1) 歳入

市税については、生産年齢人口の減少等に伴い年々減少し、令和11年度には令和5年度決算額と比べ約2億円減少の55億円と推計しています。

地方消費税交付金については、令和6年度決算見込み額を踏まえ令和7年度以降は約11億円で推移すると推計しています。

地方交付税のうち普通交付税については、合併特例債の償還終了及び人口減少に伴う基準財政需要額の減少により、令和8年度には対令和7年度数値から9千万円減少し、約75億円まで減少すると推計していますが、過疎対策事業債などの交付税措置のある起債の償還が開始するため、令和11年度には約79億円まで増加すると推計しています。

繰入金については、ふるさと応援基金についても有効に活用するため、一定額を繰り入れることとしています。なお、地域振興基金は、令和7年度末で残高がほぼ枯渇するため、令和8年度以降の推計では、繰入れを見込んでいません。

財政調整基金繰入金は、物価高騰や人事院勧告の影響等に伴う歳入不足に対応するため、令和7年度には5億円を見込み、その後は、事業の精査やふるさと応援寄附金を有効に活用することにより、令和11年度には、財政調整基金の繰入れを行わずに予算編成が出来るものと見込んでいます。

市債については、今後の事業予測を行う中で公債費の財政負担を軽減するため、事業精査により市債の発行額を極力抑えることとし、令和11年度では約19億円としています。

歳入総額については、令和7年度は約281億円と見込んでいますが、計画期間の最終年度の令和11年度には約275億円まで減少すると推計しています。

(単位：百万円)

| 項目   |             | 計画値    |        |        |        |        |
|------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|
|      |             | R7     | R8     | R9     | R10    | R11    |
| 1    | 市税          | 5,698  | 5,620  | 5,564  | 5,547  | 5,531  |
| 2    | 地方譲与税       | 175    | 171    | 171    | 171    | 171    |
| 3    | 利子割交付金      | 2      | 2      | 2      | 2      | 2      |
| 4    | 配当割交付金      | 35     | 35     | 35     | 35     | 35     |
| 5    | 株式等譲渡所得割交付金 | 39     | 36     | 36     | 36     | 36     |
| 6    | 法人事業税交付金    | 119    | 111    | 111    | 111    | 111    |
| 7    | 地方消費税交付金    | 1,150  | 1,142  | 1,142  | 1,142  | 1,142  |
| 8    | ゴルフ場利用税交付金  | 27     | 26     | 26     | 26     | 26     |
| 9    | 環境性能割交付金    | 30     | 29     | 29     | 29     | 29     |
| 10   | 地方特例交付金     | 25     | 25     | 25     | 25     | 25     |
| 11   | 普通交付税       | 7,630  | 7,540  | 7,650  | 7,770  | 7,910  |
| 12   | 特別交付税       | 750    | 700    | 700    | 700    | 700    |
| 13   | 交通安全対策特別交付金 | 2      | 2      | 2      | 2      | 2      |
| 14   | 分担金及び負担金    | 267    | 264    | 264    | 264    | 264    |
| 15   | 使用料及び手数料    | 248    | 256    | 256    | 256    | 256    |
| 16   | 国庫支出金       | 3,083  | 2,546  | 2,831  | 2,536  | 2,581  |
| 17   | 県支出金        | 1,502  | 1,497  | 1,499  | 1,501  | 1,502  |
| 18   | 財産収入        | 38     | 33     | 33     | 33     | 33     |
| 19   | 寄附金         | 1,700  | 1,800  | 1,900  | 2,000  | 2,000  |
| 20   | 繰入金         | 3,092  | 2,712  | 2,660  | 2,748  | 2,359  |
| 21   | 繰越金         | 500    | 500    | 500    | 500    | 500    |
| 22   | 諸収入         | 351    | 331    | 331    | 331    | 331    |
| 23   | 市債          | 1,610  | 2,189  | 2,017  | 2,060  | 1,947  |
| 歳入合計 |             | 28,073 | 27,567 | 27,784 | 27,825 | 27,493 |

## 歳入

百万円

30,000

20,000

10,000

0

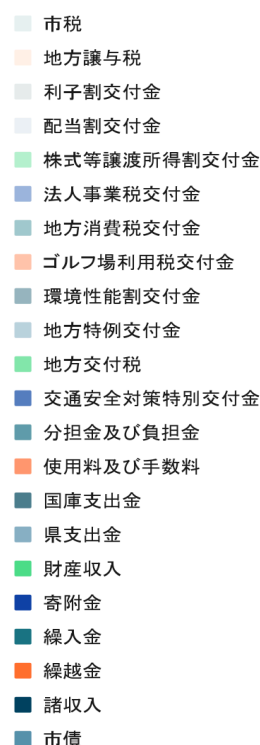
R7

R8

R9

R10

R11



### (2) 歳出

人件費については、人事院勧告の影響等により令和7年度は67億円となっており、その後も増加傾向は続き、令和11年度には69億円まで増加すると見込んでいます。

物件費については、事務事業の見直しに伴う減額を見込む一方、指定管理者制度導入や業務委託の推進等に伴う増額も見込んでいることから、令和11年度は約38億円と推計しています。

扶助費については、過去の伸び率及び人口推計によりほぼ横ばいで見込んでいます。

補助費等については、各種補助金については、人口減少等により減少していくと見込んでいます。企業会計負担金のうち水道事業会計では、耐震化に伴う一般会計からの出資の見込みを立てています。一部事務組合負担金等について、経費負担の軽減を見込み、令和8年度から減額するものと想定しています。

普通建設事業費については、今後の事業予測を行う中で費用の平準化を行い、23億円以下で推計しています。

公債費については、令和8年度に約22億円まで減少しますが、これまで実施してきた津波避難対策施設整備事業や高台移転事業等の償還が開始する令和9年度から再び増加傾向となり、令和11年度には25.6億円まで増加します。

積立金については、財政調整基金積立金については、繰越金の半額の2億5千万円をそれぞれの年度において積み立て、ふるさと応援基金積立金については、それぞれの年度の寄附額を積み立てると想定しています。

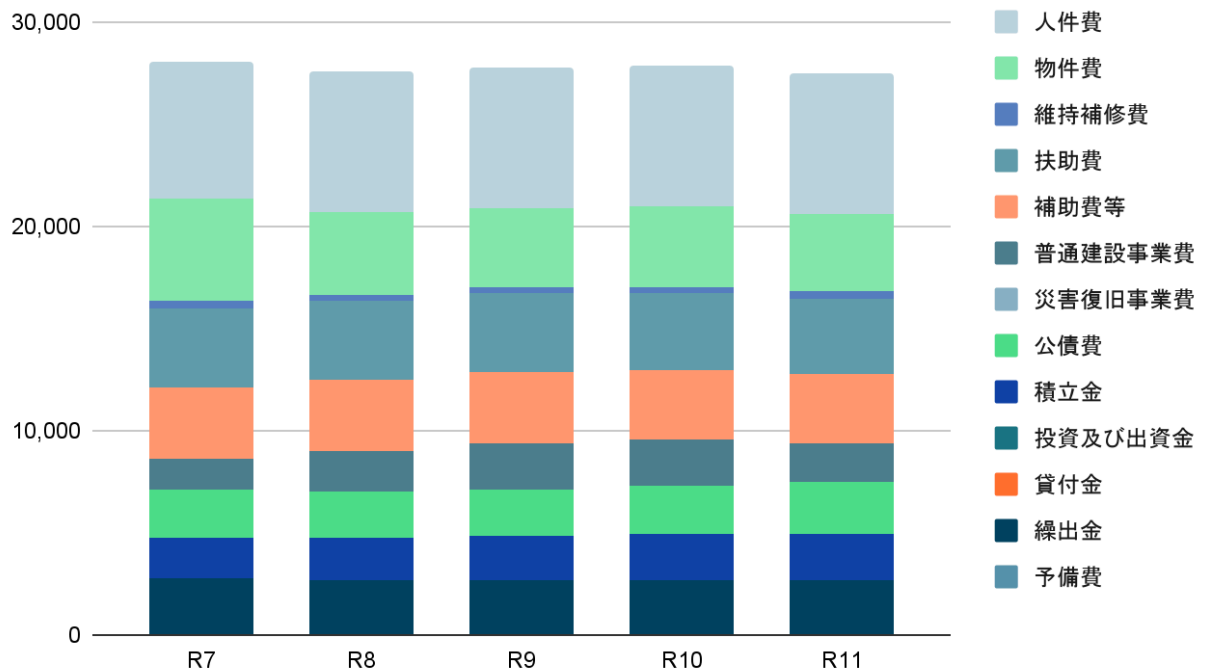
歳出総額についても歳入と同様に、令和7年度には約281億円を見込んでいますが、計画期間の最終年度の令和11年度には約275億円と推計しています。

(単位：百万円)

| 項目   |         | 計画値    |        |        |        |        |
|------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
|      |         | R7     | R8     | R9     | R10    | R11    |
| 1    | 人件費     | 6,770  | 6,872  | 6,872  | 6,897  | 6,915  |
| 2    | 物件費     | 4,990  | 4,047  | 3,945  | 3,897  | 3,802  |
| 3    | 維持補修費   | 319    | 286    | 286    | 286    | 286    |
| 4    | 扶助費     | 3,846  | 3,838  | 3,813  | 3,789  | 3,764  |
| 5    | 補助費等    | 3,574  | 3,557  | 3,458  | 3,390  | 3,379  |
| 6    | 普通建設事業費 | 1,472  | 1,945  | 2,286  | 2,239  | 1,868  |
| 7    | 災害復旧事業費 | 12     | 12     | 12     | 12     | 12     |
| 8    | 公債費     | 2,312  | 2,243  | 2,264  | 2,387  | 2,558  |
| 9    | 積立金     | 1,979  | 2,079  | 2,179  | 2,279  | 2,279  |
| 10   | 出資金・貸付金 | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
| 11   | 繰出金     | 2,769  | 2,658  | 2,639  | 2,619  | 2,600  |
| 12   | 予備費     | 30     | 30     | 30     | 30     | 30     |
| 歳出合計 |         | 28,073 | 27,567 | 27,784 | 27,825 | 27,493 |

## 歳出

百万円



### (3) 収支

収支については、人口減少等に伴い歳入が年々減少傾向にあり、労務単価等の上昇により歳出が増加しているため、計画期間の令和10年度まで歳入の不足が生じるため、財政調整基金の繰入れ（取崩し）を行うことにより収支の均衡を図っています。

事務事業の見直しやデジタル技術の活用、事業の平準化などにより歳出を抑制することで、令和11年度には歳出より歳入が上回るため、剰余分は財政調整基金へ積み立てを行うことで収支の均衡を図っています。

(単位：百万円)

| 項目                   | R7   | R8   | R9   | R10  | R11 |
|----------------------|------|------|------|------|-----|
| 歳入歳出差引額              | ▲500 | ▲552 | ▲400 | ▲388 | 1   |
| 財政調整基金繰入金<br>(歳入不足分) | 500  | 552  | 400  | 388  | —   |
| 財政調整基金積立金<br>(歳入超過分) | —    | —    | —    | —    | 1   |

※令和7年度以降の歳入歳出差引について歳入不足（赤字）の場合は、財政調整基金繰入金（取崩し）により収支の均衡を図り、歳入超過（黒字）の場合は、財政調整基金への積み立てにより収支の均衡を図っています。